



# 9月園だより

第 645 号

成田保育園



## 今月の徳目

ほうおん かんしゃ

## 報恩 感謝

自分一人では何もできないことがある。自然の恵みがなければ、食事を摂ることも、家の中で暖かく生活することもできない。慎ましい心で社会や自然に接する生活に努めよう。  
(徳目解説：日本仏教保育協会)

### 手をあわせ 「ありがとう」をひろげていきましょう。

無数の支え、恵みに対するおかげさまを自覚する心、それが「恩」です。おかげさまに対して自分のできることをして、お返ししたいという感謝の表れが「報恩感謝」という心や行動です。

単に誰か一人の恩に対して報いることだけにとどまることなく、私がいただいた支えは、同時にたくさんの人々や自然、物事に対する恩へとつながっていることを思えば、そこに感謝のひろがりが増えてくるのだと思います。

自分だけの「ありがとう」に終わらせず、ありがとうの広がりにつながりが大切です。仏教保育の合掌は、「おかげさま」の心で支え合い、つながり合っていることを、いつも心の中に温めておくことが大切だと考えます。保育園でも、家庭でも、どこにいても……。



### ● 今月の主な行事・お知らせ

- ・ 1日(金) 夕涼み会
- ・ 4日(月) お習字
- ・ 8日(金) 生命尊重の日
- ・ 11日(月)・26日(火) ピッパラクラブ
- ・ 12日(火) 9月お誕生日会
- ・ 15日(金) かけっこ教室
- ・ 29日(金) 十五夜参り

● どんなに安価なものでも、どんなに小さな行為でも、人から何かをいただいた際、次の日に「きのうは、ありがとう」の一言言って、していますか。逆に相手からこの言葉を受けたことがありますか。直接結びつく話ではありませんが、保育園の行事に参加されたおうちの方でした。とても寡黙なタイプの

方という印象を持っていたのですが、次の日に、「園長せんせい、きのうはありがとうございました」と話しかけてきてくれました。何でしょう。とてもうれしくなった記憶があります。

人と人との間に大切にしているその方の何かを感じた瞬間でした。

「こちらこそ、ありがとうございました」